

市民の暮らしを守るため安心・安全な国民健康保険事業を

齋藤 光 司

問 安心できる国民健康保険の創造のため、全庁を挙げたプロジェクトチームを立ちあげるべきではないか。

答 健康づくり事業のさらなる推進、国保税収納対策の強化を図るため関係各課が連携し健全化施策について検討している。全庁を挙げた対策会議も実施していきたい。

また、県内全体の取り組みとして横手市が設置を提案した仮称・秋田県国民健康保険制度研究会の中で制度の再構築を図っていく。

問 健全な財政の確保と市民の税負担を避けるために、国保財政計画を策定するという事だが、その内容と進捗状況について伺う。

答 現在、草案の取りまとめをしている段階で、今年度の医療費の分析をし、国保運営に反映させる予定である。内容は、保険税率の見直し、保険税の収納対策、医療費の適正化等について検証や具体的な取り組みを示すものである。

また、財政収支の見直しにより、急激な国保税の引き上げが必要と考えられる場合は、

来年6月を視野に一般会計からの法定外繰り入れを検討したい。

問 増え続けている国民健康保険税の滞納繰越金の対策について伺う。

答 本庁と地域局の税担当窓口での納税相談を呼びかけている。その結果、期間の延長や分割納付等でも納税困難な場合は減免申請を勧めている。

問 生涯教育等の取り組みで医療費を抑制している十文字地域の成果を分析し、事業に反映させるべきではないか。

答 対策会議等で分析し、特徴的な政策として、必要性が確認できれば反映させていきたい。



南部健康の駅（十文字西支所）

もっと住みよい、夢のあるまちを目指して

小 野 正 伸

問 地場産業を復興させるためにも、すべての農業経営者が再生産できる農産物価格保障制度の確立を、消費者の方々と共に構築する時期ではないか。

また、農地としての多面的機能の継承と、バイオマスを有効利用した地域協働活動の推進に取り組むべきだと考えるが、今後の対応は。

答 この地域の農業・食糧をどう考えるか、また、消費者の産地に対するまなざしを変えていただくことも必要ではないか。大変難しい問題ではあるが、国民全体としてのコンセンサスを取りながら、将来を見据えた国策として打ち出して欲しい。

農地・水・環境保全向上対策事業等、各地で活発な活動が行われており、今後共、非農家も含めて、農業・農村の環境整備に努めながら、事業を担保できる政策の推進や継続に向けていきたい。

問 夢の持てるまちづくりには、高速通信のネットワーク化が肝要だ。

若い世代がこれからも過疎



資源循環型農業の推進を(大雄堆肥センター)

化地域に住み続けるために、光ファイバー網の全世帯への早期整備を望む。

答 NTT独自のサービスが難しい地域は国の補助を活用して整備が行われてきている。今後は、世帯数が少なく未整備地域においても、情報インフラ格差解消のため、利用率や潜在的な需要調整を行いながらNTTとの早期の協議を進め、対応していきたい。

その他の質問

- ふるさと大使の制定について
- 公園等のトイレの早急な改修整備を望む
- 介護サービスの充実について
- 大森病院健診センター工事の進捗状況と受診者の推移は